

4月25日 屈斜路プリンスホテル職員と 春の火災予防運動に合わせ訓練を実施



弟子屈消防署（池田保士署長）は4月25日、屈斜路プリンスホテル（柳澤義人総支配人）にて避難訓練とAED取扱訓練を実施しました。この訓練は毎年、屈斜路プリンスホテルの夏季営業開始前と火災予防運動期間中の火災防止広報を兼ねて行われています。

訓練に参加された職員の方々は事案発生時の行動を改めて確認していました。

4月25日 おともだちと鯉のぼりのめくりっこ対決 川湯保育園でこどもの日



めくりっこ対決を楽しむ園児たち

4月25日（金）に川湯保育園（小林史和園長）で、こどもの日のお祝いが行われました。

当日の催しでは先生たちから、こどもの日をお祝いする意味や、柏餅を食べる意味などイラストを使って学びました。お話しが終わった後には、2つのチームに分かれて、赤と青の鯉のぼりをひっくり返しあう遊びをしました。遊びの途中で自分のチームの色がわからなくなったり、勝って大喜びしたりと、思い出に残る催しとなりました。

4月25日（金）に川湯保育園（小林史和園長）で、こどもの日のお祝いが行われました。

当日の催しでは先生たちから、こどもの日をお祝いする意味や、柏餅を食べる意味などイラストを使って学びました。お話しが終わった後には、2つのチームに分かれて、赤と青の鯉のぼりをひっくり返しあう遊びをしました。遊びの途中で自分のチームの色がわからなくなったり、勝って大喜びしたりと、思い出に残る催しとなりました。

5月10日 アイヌ民族とルカイ族との文化交流を 中華民国屏東県霧台郷(台湾)との連携協定締結式



覚書を持つ訪問団代表の李美惠秘書長と徳永町長（左から）

町は5月10日に屈斜路プリンスホテルで、中華民国屏東県霧台郷（巴正義郷長）との連携協定締結式を行いました。

この協定は、台湾政府に認められている16の原住民族のひとつ「ルカイ族」と日本の先住民族である「アイヌ民族」との文化振興や教育分野での協力を目的とするものになります。

当日、協定式後には歓迎レセプションや両民族による舞踊の披露が行われ、徳永町長は「直線距離で3000km以上も離れた気候も風土も異なる地域ではあるが、今回の締結で双方の発展につながれば。」と話していました。

議事を進行する山口会長



町防犯協会（山口武司会長）の令和7年度定期総会が5月8日、町役場で開催されました。総会では、令和6年度の事業・収支決算報告や、7年度の事業計画案・収支予算案の承認が行われました。来賓の弟子屈警察署・鈴木将人署長は、同防犯協会の歴史や犯罪情勢を解説したうえで、関係機関・団体の連携協力の継続を呼びかけました。

また、山口会長は「地域コミュニティで特殊詐欺情報などを共有し、被害に遭わないための活動を行うのが第一。事件や事故のない安心安全なまちづくりを目指したい。」と話しました。

5月8日 犯罪のない明るい社会へ 町防犯協会定期総会を開催

5月1日～8月31日 川湯ビジターセンターで開催中 写真展「アクティブレンジャーが見た阿寒摩周国立公園」



アクティブレンジャーの桶熊夏歩さん

川湯ビジターセンター（安藤心センター長）では、5月1日よりアクティブレンジャーによる写真展を開催しています。

アクティブレンジャーとは、自然を守り伝えていきたいという思いを抱きながら、国立公園を中心にパトロールや調査などの活動を行っている環境省職員のことです。

写真展では、阿寒摩周国立公園管理事務所（阿寒湖管理官事務所を含む）のアクティブレンジャー3人が撮影した、国立公園の景色や生き物たちの一瞬を収めた作品の数々が展示されています。四季折々の作品が見られるこの写真展は、8月31日（日）まで開催しています。

参加者からの質問に答える大原名誉教授



（公財）北海道環境財団理事長である、北海道大学・大原雅名誉教授による講演会「エンレイソウの生活史～カワユエンレイソウの謎を含め～」(屈斜路カルデラ自然ふれあい推進協議会主催)が5月18日、川湯ビジターセンターで開催されました。

カワユエンレイソウとは、川湯地域で1996年に新種として登録された謎多き植物です。大原名誉教授はこのカワユを含めたエンレイソウ属の生態などについて、写真などの研究資料を用い、時には笑いも交えながら講演を行いました。会場には約60人もの参加者が集まり、皆さん真剣な様子で耳を傾けていました。

5月18日 カワユエンレイソウを学ぶ 自然ふれあい行事講演会を開催

4月9日 安全運転のよびかけ 「旗の波街頭啓発運動」を実施



啓発品を手渡す村岡会長

町交通安全運動推進協議会（徳永哲雄会長）と町交通安全協会（村岡幸雄会長）は4月9日、春の全国交通安全運動に合わせ、摩周観光文化センター前で旗の波街頭啓発運動を実施しました。

同啓発運動は、交通安全意識の向上を目的として毎年実施しており、関係機関などから約50人が参加。沿道に並び、交通安全と書かれた旗を掲げて交通事故防止を呼びかけたほか、弟子屈警察署（鈴木将人署長）の協力の下、通行車両のドライバーに啓発品を配布しました。

4月18日 明るく住みよいまちづくりを 自治会連合会定期総会を開催



挨拶をする野田口会長

町自治会連合会（野田口昌明会長）の令和7年度定期総会が4月18日、摩周観光文化センターで開催されました。

同連合会は「思いやりと助け合いの輪を広げましょう」をテーマに、防犯などについての研修会、美化活動や交通安全運動を行っています。総会では、令和6年度の事業・収支決算報告や、7年度の事業計画案・収支予算案の承認を行ったほか、行方がわからなくなった高齢者を地域ぐるみで発見・保護・支援する取り組みであるSOSネットワークについて学び、助け合いに対する意識を高め合いました。

4月22日 車の危険を再確認 全校生徒に交通安全教室開催



内輪差の巻き込み衝突実験

川湯小学校（山館孝志校長）が、弟子屈警察署（鈴木将人署長）の指導のもと交通安全教室を4月22日、小学校舎前で行いました。

この日は登下校や自転車のルールを確認した後に、ダミー人形を使った時速40kmのスピードの衝突実験や車の内輪差による巻き込み衝突実験が行われました。実験を目の当たりにした生徒たちからは、衝突したときの衝撃や音の大きさに驚きの声があがりました。

また、実際に運転席に座り、車の死角を確認することで、運転手に気づいてもらうために手を挙げて渡ることの大切さを学びました。

カメラスケッチ

広報マンが行く!!

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかけつけます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913（課直通）

4月18日 交通死亡事故ゼロを目指す 交通安全運動推進協議会の定期総会



総会の様子

町交通安全運動推進協議会（徳永哲雄会長）の令和7年度定期総会が4月18日、摩周観光文化センターで開催されました。

総会では、令和6年度の事業・収支決算報告や、7年度の事業計画案・収支予算案の承認が行われました。

来賓の弟子屈警察署鈴木将人署長からは、町内の交通事故などの情勢について説明があり、会長の徳永町長は「町内交通死亡事故ゼロの継続を目指していきたい。」と話しました。

4月21日 伝統儀式で完成を祝う 屈斜路古丹生活館落成式を開催



新築を祝う儀式「アシリチセノミ」

建設から50年以上が経過し老朽化が進んでいた、屈斜路古丹生活館の移転改築工事が終了し、4月21日に同生活館で落成式が開かれました。落成式では、弟子屈町屈斜路古丹アイヌ文化保存会の豊岡征則会長が祭司を務め、新築を祝うアイヌ民族の伝統儀式「アシリチセノミ」を執り行い、火の神に感謝と祈りをささげました。

新生活館は、技術や文化継承の場としての多目的室や談話スペースを有しているほか、厨房やアクティブスペースなどを備え、アイヌ民族の方々や地域の生活文化の向上と社会福祉の増進、交流のための施設となっています。